



「放射能と向き合った 10 年、そして未来へ」 (放射能測定 10 年間の記録) 冊子完成間近！ (池田 光司)

2011 年 6 月 10 日、東日本大震災と福島第一原発事故の影響が強く残る中、南相馬市で放射能（空間線量率）測定が始まりました。それから 10 年間、20 回にわたって測定が行われ、毎回放射能レベルを色分けしたマップが作られ、地元を中心に配られてきました。測定に参加された方は、のべ 1,500 人を超え、測定点数は 26,000 点を超えました。測定準備・現地受入れ・数々の寄付や励ましなど、本当に多くの方々に支えられて、10 年間測定を続けてくることができました。この場を借りてあらためて感謝申し上げます。

さて、現在 10 年間の測定をまとめた冊子を作成中です。測定データの分析結果は毎回報告して来ましたが、あらためて 10 年間のデータを 1 冊の本にしようという試みです。マップに加えて、10 年間のデータ分析結果や活動の記録が載る予定です。あらためて、10 年間のデータを見直してみると、新たに気付いたり、確かにこういう傾向だったと再度認識できたりする部分が少なからずありました。福島原発事故を風化させることなく、放射能汚染の実態の一端を、未来に伝える貴重な 1 冊になると思います。貴重なデータを扱う責任を感じながら、締め切り(年内)に冷や汗を流しながら執筆中です。完成をご期待ください。



NPO 法人 チェルノブイリ救援・中部

事務所所在地: 〒460-0012 名古屋市中区千代田 5 丁目 11-33 ST プラザ鶴舞 本館 5 階 B

銀行名: 三菱 UFJ 銀行 高畑支店(店番号 297)

口座番号: 普通 1682863

口座名義: 特定非営利活動法人 チェルノブイリ救援・中部 理事長 池田 光司

郵便振替: 00880-7-108610

TEL / Fax: 052-228-6813 (月・水・金 10:00 ~ 17:00)

ホームページ: <http://www.chernobyl-chubu-jp.org>

南相馬市での農地再生協議会の活動を中心にした情報を、再生協事務局からの情報を元にお届けします。

1. 在庫菜種の工業用向け販売完了

在庫期間が長くなり、食品用としては販売できないナタネは、大変頭の痛い問題でした。これ以上在庫することもできず困っていたのですが、食品用ではなく工業用の切削油などとして販売できることが判り、8月26日、9月9日、10月5日の三回に渡り、ナタネ合計32トンを愛知県の工業用油脂メーカーに販売しました。この種は、①納品時点での不良の可能性(?)、②長期保存による品質劣化、③在庫管理の問題(温度など)・・・などから、食品用としては不適合となったものです。忙しい、慣れないなどの理由はありますが、今後、保管場所にクーラーを設置するなどの工夫をして、品質向上・維持に努めたいと思います。

2. 2022 年産ナタネの播種前契約締結

再生協のナタネ油用の種は、次年度収穫量を予め推定し、生産者との播種前契約を取り交わしています。対象は「アグリあぶくま」と飯舘村の生産者です。今回も2者との間で播種前契約が交わされました。

アグリあぶくま 契約 10 月 品種 キラリボシ 12 トン
飯舘村 契約 9 月 品種 キラリボシ 最大 10 トン

* 契約時期が播種時期にまでずれ込んだため、来年からは6月頃までに契約できるよう準備することとなりました。

3. 信田沢搾油所の購入断念

信田沢搾油所については現在、南相馬市から賃貸で借りています。これを土地建物付で買い取る方向で一年間検討してきました。しかし、金額が1,800万円程となり、コロナ禍で販売が伸び悩む中、高額な投資はできないとの判断に至り、10月16日の定例会で購入を断念しました。来年3月に、賃貸期限が終わることになりますので、そこで期限後の施設移転をどのように考えるのか話し合いをしています。

4. 飯舘村との連携

ナタネの生産者である飯舘村の役場・農協・生産者代表との協議の際に、『ナタネ油』を飯舘村産として『ふるさと返礼品』や『飯舘道の駅』で展開したいとの希望がありました。そのため、飯舘産ナタネ種子100%使用を前面に打ち出した形で、『飯舘村ブランド』を設定した取組みが不可欠となりますが、表裏ラベルに工夫を加えれば可能ではないかと事務局提案しました。搾油作業・商品提供は、農地再生協議会として協力が可能であることも伝えました。

5. 杉内さんの代表辞任届け

10月16日付けで、杉内代表から代表辞任届が提出されました。再生協設立以来、継続して代表の任に当たり奮闘されました。再生協としては問題山積みの現在、すぐ交代というわけにいかないため、事務局預かりとして検討することになりました。



<前列中央が杉内さん>

伊那市で映画「食の安全を守る人々」上映会を開催しました。

(上映する会 原 富男)

10月29日から31日にかけて、私の住む伊那で映画「食の安全を守る人々」の上映会を開催した。きっかけは、チェル救の河田さんの「映画ができたよ！」というひとこと。ネットで検索してみると、監督：原村政樹、プロデューサー：山田正彦、ナレーション：杉本彩(作家・ダンサー)・・・とあり、河田さんもお勧めだし、杉本彩が出るのならばと思い上映会を企画した。

種子法廃止、種苗法の改定、ラウンドアップ規制緩和、そして表記無しのゲノム編集食品流通への動きと、TPPに端を発する急速なグローバル化により、日本の農と食にこれまで以上の危機が押し寄せている。しかし、マスコミはこの現状を正面から報道することはほとんどなく、日本に暮らすわたしたちの危機感は薄いのが現状である。

この趨勢が続けば、多国籍アグリビジネスによる支配が強まり、食料自給率の低下や命・健康に影響を与えることが懸念される中、弁護士で元農林水産大臣の山田正彦が、長年、農業をテーマに制作を続けている原村政樹監督との二人三脚で撮影を進め、日本国内だけでなく、アメリカでのモンサント裁判の原告や、子どものために国や企業と闘う女性、韓国の小学校で普及するオーガニック給食の現状など幅広く取材。果たして日本の食の幸せな未来図はどこに…。

3～4人の友人に電話し打合会をはじめてみると、いつものメンバー以外に生活クラブ生協伊那支部の支部長・副支部長・職員などの参加があった。生活クラブのメンバーは、この映画は「生活クラブのためにある映画だ！」という意気込みで、私としてはタジタジ。ともかく大勢の人に観てもらおうということになり、29日・・・高遠町(午前・午後の2回)、30日・・・生活クラブセンター(午前・午後の2回)、高遠町(夕方1回)、31日・・・いなっせ(午前・午後の2回)、計7回の上映となった。

選挙が早まったこともあって、映画を見た方は7回の合計で140名、1回上映につき20名となった。この人数が多いのか少ないのかはよくわからないが、食の置かれている危機的な状況を理解できたことは良かったと思う。いなっせ会場では、上映後、下伊那郡松川町で給食に有機食材を提供している「松川ゆうき給食 とどけ隊」の2名の方に様子を話していただき、また長野県の議員さんの組織「信州オーガニック議員連盟」からも、長野県内の有機給食の現状を話していただいた。

【映画を観た方々の感想は・・・】

- *わかりやすい衝撃的な内容だった。学校給食だけでもどうにかしたいと思う。
 - *ショックでした。小麦に大量のラウンドアップ成分が含まれている。日本だけが規制を緩めている事実、声をあげることの大切さを感じた。有機農法後進国日本は情けない。
 - *発達障害児が増えていること、体験から実感しています。原因の一つが農薬や化学薬品であり、腸に入った物が脳の神経に影響していくということに、「なるほど」と唸られました。
 - *自分や子どもの代に影響がなくとも、孫・ひ孫の代に影響が出る可能性があること、とても恐怖を感じました。安全な食品選択の一つとして、生活クラブの存在はとてもありがたいと改めて感じました。
 - *オーガニック給食、韓国ができるのなら日本でも出来るはず。
 - *伊那谷は果樹栽培が多いので、農薬による子ども達への影響も深刻かもしれない。特にネオニコが心配です。松食い虫の空中散布も。長野県の若者の自殺者数全国トップクラスです。
- ☆ 映画会を終えて、「伊那でも有機給食の取り組みをしたい」という声上がり、そんな取り組みに着手し始めました。(因みに、杉本彩さんはナレーターの声だけでダンス姿はありませんでした。)

★国際送金

「業務委託費」27万円を送金。(今年度業務委託費予算は執行終了)

★ミルク支援

チェルカ支援者の方の「1000円でいくら粉ミルクが買えるか？」という質問についての情報。

- ・ナロジチとコロステン…貧困家庭にミルクを供給するため、安いものを購入している。平均、320～386円/個。ナロジチではそのようなミルクを85個購入。コロステンでは104個。
- ・州立孤児院…275円/個の肉のピューレ(HIPP)等を購入。肉のピューレ145個、果物のピューレ180個。〔訳注：果物のピューレについては、価格の記載がありませんが、納品書から計算すると約222円/個〕
- ・ジトーミル市立小児病院…患児用の特殊ミルクHIPPCombiotic、HIPPComfort(1,060円/個と1,500円/個)計68個を購入。
- ・ジトーミル州立小児病院…Nutrilon(吸収不良症候群用、未熟児用)の1,590円/個及び1,800円/個のものを購入。計71個。
- ・オヴルチ地区病院の産科…粉ミルクNAN1・2、NAN消化機能障害用、NAN乳糖不耐症用(1,043円/個、1,400円/個、2,000円/個400g入)を計32個購入。

病院では、入院直後の子ども達にこれらのミルクを提供し、その後親たちはスポンサーを見つけるか、自力で購入するかした。コロステンとナロジチは、購入したミルクを家庭ごとに配布した。

★クリスマスカードキャンペーン

- ・静岡サレジオ小学校への問い合わせ。今年、サレジオ小学校はカードキャンペーンに参加するかどうか→サレジオ小へ問い合わせたところ、「クリスマスカードキャンペーンですが、もちろん参加させていただくつもりです。数は多くないかもしれませんが、子ども達の真心をカードにのせてお贈りできればと思っています」とのことで、ドンチェヴァさんへ連絡。
 - ・月曜日から、ジトーミル市とジトーミル州は〔コロナウイルス対策の区域分類〕赤のゾーンに入り、患者は増加。1日に225人が新規感染し、悲しいことに26人が亡くなった。学校は秋休みだったが更に1週間延長され、〔その後〕学校当局によればまた遠隔授業になるそう。
- つまり、ウクライナでのクリスマス・カードのキャンペーンは、脅威にさらされている。もちろん、幼稚園(は開いています)に期待をかけているが、念のため、今年のカードの数はかなり減るかもしれない。11月5日にカードを受け取り、地区の状況について話す目的で、ナロジチに行く予定を立てている。〔ナロジチ町の〕幼稚園・学校・病院等を訪問予定。



★コロナ状況(10月13日メール)

COVID-19の状況は、それほど明るいものではない。ジトーミル州では500人/日に及び新規感染者が出ており、15～20人/日が亡くなっている。ほとんどは60歳以上の人だが、中には40代の人。ウクライナでは、10月12日に16,300人の新規感染者数が記録され、うち1,588人は〔18歳未満の〕児童。15万人/日がワクチン接種。でも、ワクチンを拒否している人も非常に多い。

今のところ、カフェやレストラン・映画館は通常の営業をしており、市内の公共交通機関はマスクを着用した人のみ利用可能。しかし、もし他の町へ行こうと思うと、必ずワクチン接種証明書を提示するか、PCR検査を受けるかしなければならない。こういう規則が10月10日から適用。遵守されるかどうかは疑問。

親愛なる日本の友人の皆さん！

慈善基金「チェルノブイリの消防士たち」

代表 ボリス・チュマク

私たちは、チェルノブイリ惨事の影響を解消する仕事に対していつもいただいているご支援に感謝したいと思っている、ジトーミル州の消防士たちです。今年も、チェルノブイリのゾーンの森林で発生した火災の消火作業に関連する、多くの問題を解決することができました。

非常事態局職員の力を借りて、私たちは皆さんの資金で購入されたクワッドローター（ドローン）の使用についてのご報告を作成しました。この機器のおかげで、毎日のように炎と闘っている消防士たちの健康を守ることができたのです。クワッドローターは、ジトーミル州非常事態局オペレーション・グループの車両に装備されている備品のリストに含まれており、24 時間体制でさまざまな緊急の事件や事態に対応しています。

昨年 10 月にクワッドローターのご提供を受けてすぐに、非常事態局の専門家は、コロステン地区オレウシク自治体ブチマヌィ町の上空の飛行を行いました。そこは泥炭湿原で、長期間火種がくすぶっていました。この偵察は、火事の火元を見つけ、それに応じて消防の人員や車両を現場に移動させる目的で行われました。

4 月 21 日、「森林火災による非常事態への対処」というテーマの戦術的特殊演習の撮影が、オヴルチ地区スロヴェチナ林業会社の森林で行われました。演習には、州内の林業企業職員・ジトーミル州非常事態局の消防隊・地元の自治体関係者が参加しました。撮影されたビデオ資料に基づいて、州非常事態局の座学研修の際に用いるビデオが編集されました。火災の起こりやすい時期であることに कांगみ、また市民に対する自然の中での防火規則の周知を目的として、5 月 12 日、



非常事態局の職員たちにより、地域の自然の中での火災発生防止をテーマとしたビデオ作成

のため、航空撮影による資料収集が行われました。



今年の 6 月初めには、ベルドゥイチウ市の家庭不燃ごみ処分場で発生した火災の消火に際し、偵察の目的でこの機器が用いられました。消火作業は 1 週間に及びました。クワッドローターのおかげで、火事の起こった範囲と火元、またすみやかな延焼防止と消火のために、消防士と消防車を配置すべき場所を正確に把握することができました。

7 月 26 日には、戦術的特殊演習の航空撮影がジトーミル市の貯油施設で行われました。この演習の目的は、貯油施設の特性を学び、潜在的に危険な建屋での火災の消火に関する、州非常事態局職員と当該施設職員の訓練を行うことでしたが、結論としてその目的は達成されました。

7 月 27 日、[農産物の] 収穫と収穫物の集積及び加工が行われる場所の監査のための航空撮影。7 月 30 日、海や川・湖での余暇を安全に過ごすための規定に関する、市民啓蒙ビデオ作成用の航空撮影。

8 月 12 日、マールイイ・ドゥイヴリン村（コロステン地区ルヒヌィイ自治体）で、泥炭湿原の火災が発生しました。現場は沼地で、車両や人員が接近しにくく、火元や火災の範囲を判定するのが困難でした。クワッドローターを用いて現場の偵察が行われ、火災の火元とその拡大の方向が特定でき、それに基づいて非常事態局の人員と車両の配置を正確に行うことができたため、火災は消し止められました。

ご支援と、私たちの命を延ばしてくださっていることに、改めて感謝申し上げます。消防士たち全員が、皆さんの善良さと誠実さの前にお辞儀をさせていただきます。

皆さんが、ゆるぎないご健康・ご多幸と長寿に恵まれますように。

※「クワッドローター」は南相馬市「希来基金」より寄付されたものです。

連載 132 号で予告した「ゲノム編集」はついに現実となった。血圧を下げる働きがあるという「高 GABA トマト」、筋肉隆々の「マッスル真鯛」、そして最近商品化された「成長促進トラフグ」等のネット販売が始まっている。ゲノム編集の安全性については現在、世界的に大きな懸念が広がっており、技術的には日本より進んでいる中国や EU 諸国でも、商品化は行われていない。2 年前、世界で最初にアメリカで商品化されたゲノム編集「高オレイン酸大豆」は、今頓挫している。ゲノム編集の商品化は世界で日本だけである。

遺伝子組換えからゲノム編集へ

ゲノムは全ての生命の設計図である。それを最初に操作し経済の道具としたのは、「遺伝子組換え」だ。1996 年にアメリカで始まった遺伝子組換え大豆やトウモロコシは今、世界を席卷し家畜飼料や食料として不可欠のものとなっている。それを支配しているのはアメリカであり、日本は年間 2 千万トンを超す世界最大の輸入国だ。食料自給率低下の大きな原因でもある。遺伝子組換え作物は、実際はアメリカの農薬メーカー、モンサント等による農薬販売増加の手段だった。世界で、遺伝子組換え作物栽培が大規模に行われているのは、アメリカ・カナダ・ブラジル等のアメリカ大陸だけである。これらの国には表示制度がなく、市民は事実上人体実験の道具にされてきた。それが原因で、子どものアレルギーや癌、発達障害が大きな問題になっている。今アメリカでは、大手スーパーでさえも自主的な「非遺伝子組換え」表示を行い、オーガニック（有機農産物）市場は急成長している。市民が遺伝子組換えの危険に目覚め、裁判などで問題を追及し始めたからだ。遺伝子組換えは限界を迎えている。それにとって代わろうというのがゲノム編集だ。

ゲノム編集は何が問題か

ゲノム編集は、特定の遺伝子を標的に破壊する技術だ。推進派の専門家は、「ゲノム編集は従来の突然変異による品種改良と同じ」と主張し、それを理由に、国は安全審査や表示義務化を行わず、開発企業の自主的な届け出だけで良い、と決めた。だが、この主張は科学的に欺瞞に満ちたものだ。ゲノム編集で

は、標的遺伝子の破壊すべき塩基配列を特定するが、その長さはおおむね 20 個前後である。それを「クリスパー-Cas9」という DNA 分解酵素で切断する。だが、動植物のゲノムの塩基は数十億個あり、20 個程度の同じ塩基配列は通常、数十ヶ所存在する。これが同時に破壊される。これを「オフターゲット」という。自然放射能等による突然変異は、ランダムな反応であり、同じ塩基配列を持つ異なる遺伝子が同時に破壊されることは絶対ない。また、ゲノム編集では DNA の 2 本鎖を同時に切断するが、自然突然変異では通常は 2 本鎖のうち片方だけが切断される。その結果、切断されなかった鎖を鋳型に、切断された DNA 鎖は修復される。2 本鎖切断は、人為的な強烈な放射線照射などでなければ起こらない。また、ゲノム編集で切断・除去された DNA の両端を再結合するのは、細胞が持つ DNA 修復酵素だが、切断除去された 2 本鎖の両端を再結合する際に大きなミスを起こし、数千塩基を失う事も珍しくない。こんな事は自然突然変異ではめったに起こらない。ゲノム編集には、未解決の問題がまだたくさんある。それを安全審査なし、表示なしとする経済優先の付けは必ずやってくる。相手が生命の根幹であるゲノムだけに、未解決の問題を放置したままの実用化は危険である。1970 年に大阪万博会場へ若狭湾から送られた原発の電気は、マスコミを含め政府の大宣伝で始まり、原発時代の幕開けとなった。ゲノム編集の今は、あの頃にそっくりだ。誰がそのつげを払うのか。

2021 年 11 月 26 日（河田）

今年もクリスマスがやってくる

～クリスマスカードキャンペーン始まる～

(上田 千津子)

いつも皆様方のご協力のおかげで、クリスマスカードをウクライナと福島の子供達に送り続けられています。ありがとうございます。



あれから30年。1991年にウクライナの子供達は、チェルノブイリ事故による健康被害だけでなく、心の健康も冒されていることが分かりました。そして、日本からの手作りカードを贈るきっかけになりました。福島原発事故以来、ウクライナの子供達からも、カードが日本に贈られてくるようになりました。

さて、11月13日(土)に名古屋市の「ソーネおおぞね」で行われた秋祭りマルシェに、私たち「チェル救」も参加しました。コロナ下でイベントの少なくなった中、「油菜ちゃん」関連商品を販売する隣で、机ひとつ分のスペースにて『クリスマスカードキャンペーン』の開始です。若いお母さんや子供達、障がいのある青年達が次々と訪れてくれました。私たち大人と違って子供達は、自由な発想でイキイキとカードを作ってくれました。中には、自分が書いたカードを持って帰りたいという強者もいて苦笑い。お母さん達には、ウクライナとフクシマに贈るとお話しすると、感心したように頷いておられました。この日の成果は15通。現地の子供達も喜んでくれることでしょう。

事務所では、締め切り日の11月19日からカード発送作業をする予定でしたが、11月に入ってからなかなか集まらなくて心配は募ります。しかし、当日には郵便局から山のようにカードが届き始めました。カード総数は、1,906通(うち福島811通、ウクライナ1,024通、どちらでもよい71通)(11月23日現在)。ウクライナのホステージ基金では、もう日本に向けて発送して下さったようです。

事務所では、ボランティアの方とともに、いつものように袋詰め作業を始めました。かわいいクリスマス用の紙袋に、クリスマスカードと皆さんから送られてきた折り紙(これがまた素晴らしいものばかり。ツルはもちろんいろいろな種類のサンタさんや姉さま人形、動物たちなど)、そしてウクライナ向けには、ウクライナ語で書かれたメッセージカードを添えて送ります。

このポーシェが皆様のお手元に届くころには、ウクライナに航空便が運んでくれていることでしょう。福島の子供達にも順次発送する予定です。両国の子供達が、被災の困難を乗り越えて幸せになってくださるよう願っています。

クリスマスカードキャンペーン真っ最中です！

こんにちは。ハロウィンが終わると、ケーキの予約が始まったり、クリスマスプレゼントのカatalogが出てきたり...一気にクリスマス商戦が始まりますね！チェル救はというと、毎年行っているクリスマスカードキャンペーンの真っ只中です☆支援先である、ウクライナと福島県南相馬市の子供達に、手作りのクリスマスカードと折り紙などを毎年贈っています。



11月に入って、事務所には全国からクリスマスカードや折り紙作品などが続々と届いています！

今日は、キャンペーンに参加して下さっている、豊橋創造大学短期大学部の先生より届いた写真をご紹介します。たくさんのカードを学生の皆さんが作って送ってくれました～。

どれも素敵なカードになっています☆

※ チェル救の「活動報告ブログ」から引用しました。



名古屋女子大中学校生のチェル救訪問

(戸村 京子)

恒例となっている名古屋女子大中学校の生徒 6 名が、校外学習としてチェル救の事務所を訪れました。事前に出されていた質問にメンバーの河田さんが回答し、またチェルノブイリと福島原子力発電所の事故・放射能の話・福島の被災地での放射能測定・復興活動などについて、専門的な内容をパワー

ポイントの写真や図などを使って丁寧に解説しました。中学生たちは熱心に耳を傾け、さらに質問したり学んでいました。他の NGO/NPO 団体への訪問と比べて、チェル救の地味な活動を「どうして選びましたか？」と尋ねると、「自分の祖母が被ばく 2 世で、話を聞いていたので」、「ずっと関心があったから」などと答えてくれました。

後半は、チェルノブイリの被災地やウクライナの人々・子ども達について、社会面や生活面からも関心を高めてもらえるように、私のウクライナ滞在中の写真やエピソードなどを紹介しました。ウクライナの生の生活は、日本ではなかなか知られていないので、ウクライナの小中高一貫校の同年代の生徒たちの様子、ウクライナの料理などは興味も持ってもらえたのではないかと思います。

最後に、現在ウクライナと日本の双方で「クリスマスカードキャンペーン」の真っ最中であり、中学生の皆さんにも手作りのクリスマスカードを作成してもらいました。ウクライナと福島原発事故被災地に生きる子ども達を励まし、相互に友情をはぐくむ活動をリアルに感じてもらいたいと願いつつ、カウンターパートのドンチェヴァさんがフェイスブックで時々刻々と伝えてくれる、ウクライナの学校や絵画教室などで取り組まれているカードづくりの写真を見てもらいました。中学生の皆さんは想像をふくらませながら制作し、それぞれに個性的な励ましのカードが出来上がりました。

「油菜ちゃん」を贈ろうプロジェクト

(山盛 三千枝)

今年 3 月よりスタートした『「油菜ちゃん」を贈ろうプロジェクト』は当初、子ども食堂を利用される「ひとり親家庭・障がい者・独居のご高齢者」の皆様に、「油菜ちゃん」を届ける事から始まりました。第 2 回目(8 月)のこのプロジェクトは、コロナ禍の中で、とりわけ厳しい状況下で暮らす子ども達の家庭を対象として実施されました。南相馬市社会福祉協議会・地域生活課の課長さんとご相談し、40 のひとり親家庭に「油菜ちゃん」をプレゼントしました。

南相馬市のこども未来部・こども家庭課では、「特にひとり親家庭は、保護者が一人で働きながら子どもの養育をされており、今回のような(コロナ)状況下では、収入の減少や小中学校の臨時休校による対応等の影響を、強く受けているものと考えます。…自動扶養手当に支援金を上乗せした追加支給等を実施し、独自の緊急支援策を講じてまいりました」と、メッセージを発信しています。

さて、12 月。今度は 85 本の「油菜ちゃん」をプレゼントすることにしました。コロナ下で厳しい暮らしを強いられている、ひとり親家庭の子ども達が健やかであれと願い、なたね油「油菜ちゃん」と、クリスマスキャンペーンで寄せていただいたクリスマスカード、そして、身体に優しい手作りクッキー(チェル救をいつもご支援くださる「焼き菓子工房み〜も」の高橋さんの製造)、「名古屋より心を込めてメッセージ」(チェル救より)を添えて贈ります(右の写真)。子ども達にささやかなクリスマスプレゼントです。



問5 忘れられないエピソードはありますか？

あります！ 入社して約1週間後の6月初旬に、長女が体調不良で寝込んでしまい、看病のために再生協の仕事も休まざるを得なくなりました。1週間後に復帰しましたが、大切な通常総会の場にて、会員の皆様に入社の挨拶をすることが叶わず、丸々2週間の休みとなってしまう、“覚え始めた仕事内容をほとんど忘れてしまう”という事態に…。

前任の事務担当者さんとは、わずか1日で引き継いだため、ひたすら神谷さんから教わったことをメモした「手のひらサイズのメモ帳」を読み返しながら、復帰後は毎日を必死にこなしていた…ということがありました。

その後は、しばらく元気に保育園へ登園していた長女が、3ヶ月後の9月には再び「急性肺炎」、更に3ヶ月後の12月には「マイコプラズマ肺炎」にかかり、それぞれ即入院。わずか半年の間に、長女が肺炎で3度も入院する事態になり、神谷さんや後任の神野さんには、その都度ご迷惑をお掛けしたことを本当に申し訳なく思っています。忘れたくても忘れられない出来事です。

そんな長女も、以後は大きな病気にかかることなく元気に過ごしています。今年4月から新1年生になりましたが、下校後は事務局に来て宿題を済ませたり、私の仕事を手伝ってくれたりしているんですよ☆ 毎日のように事務局に来ているので、私がどんな仕事をしているのかが分かるらしく、『ママ！手伝ってあげる！』ってニコ

ニコして言うんです。小さいけれど、とても大きな即戦力になっていますね。

ある日の長女が発した『大きくなったら、私も「油菜ちゃん」のお仕事する〜♪』という言葉。もう少し大きくなったら、やりたいことや興味も変わってくるでしょう。けれど、母親としても、事務局に勤務する者としても、とても嬉しく忘れられない言葉となりました。

質問6 お客様や取引先の声で印象的なものがありましたら教えてください。

事務局が直接いただいた声ではありませんが、『ぜひ「油菜ちゃん」を入れてください』というお声です。

ある日、委託販売先の「道の駅南相馬」様が、お客様から福島県産品の詰め合わせを受注し、詰め合わせる品物は「道の駅南相馬」様にお任せする…というものだったそうです。道の駅の担当の方から「県産品はいろいろあるんですけど、お客様のご要望で『ぜひ「油菜ちゃん」を入れてください』とのことなんですよ」という趣旨のお話を聞き、すごく嬉しくなりましたね。“わ〜い♪油菜ちゃんをご指名だ〜♪”って(*^^*)。ご指名をいただけたことがとにかく嬉しくて、強く印象に残っています。(つづく)



<委託先への油菜ちゃん補充のため準備中の池田さん>

2021年度上半期 活動計算書

特定非営利活動法人チェルノブイリ救援中部

(単位:円)

(特定非営利活動に係る事業会計)

自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月30日

科目		金額	
【経常収益】			
1. 受取会費	正会員受取会費	93,000	
	賛助会員受取会費	144,000	237,000
2. 受取寄付金	粉ミルク支援	104,500	
	チェルノブイリ支援(被災者団体)	36,500	
	福島原発被災支援	245,818	
	一般寄付	2,396,520	2,783,338
3. 受取助成金		0	0
4. 事業収益	福島支援事業	113,456	
	イベント関連事業	46,700	160,156
5. その他の収益	受取利息	23	
	雑収入	8,010	8,033
経常収益 計			3,188,527
【経常費用】			
1. 事業費			
(1) 人件費	給料手当・日当	0	
	人件費計	0	
(2) その他経費	業務委託費	180,000	
	支援金	1,152,144	
	印刷製本費	413,075	
	旅費交通費	498,680	
	通信費	35,079	
	荷造運搬	111,860	
	消耗品費	522	
	賃借料	15,300	
	仕入	97,660	
	諸会費	10,000	
	支払手数料	20,663	
	その他経費計	2,534,983	
事業費 計			2,534,983
2. 管理費			
(1) 人件費	給料手当	883,300	
	法定福利費	5,134	
	人件費計	888,434	
(2) その他経費	通信費	81,277	
	水道光熱費	47,124	
	会議費	1,200	
	消耗品費	95,177	
	印刷製本費	28,810	
	地代家賃	396,000	
	保険料	7,730	
	租税公課	600	
	支払手数料	44,199	
	その他経費計	702,117	
管理費 計			1,590,551
経常費用 計			4,125,534
当期正味財産増減額			△ 937,007
前期繰越正味財産額			7,431,059
次期繰越正味財産額			6,494,052

※定款(事業)第5条に基づく「その他の事業」は実施していません。

2021年度 財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年 7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）による。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価基準は原価基準、評価方法は最終仕入原価法による。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をする。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式による。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科目	医療機関支援事業	被災者団体支援事業	粉ミルク支援事業	クリスマスカード事業	業務委託事業	通信誌発行事業	イベント関連事業	派遣事業	福島原発被災支援事業	事業部門計（A）	管理部門（B）	合計（A+B）
【経常収益】												
受取会費											237,000	237,000
受取寄付金（指定寄付）	18,250	18,250	104,500						245,818	386,818		386,818
受取寄付金（指定なし按分）	153,377	153,377		23,965	115,033	129,412	64,707	115,033	697,388	1,452,292	944,228	2,396,520
事業収益							46,700		113,456	160,156		160,156
その他の収益										0	8,033	8,033
経常収益 計	171,627	171,627	104,500	23,965	115,033	129,412	111,407	115,033	1,056,662	1,999,266	1,189,261	3,188,527
【経常費用】												
(1) 人件費												
給料手当・日当											883,300	883,300
法定福利費											5,134	5,134
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	888,434	888,434
(2) その他経費					180,000					180,000		180,000
業務委託費												
支援金	600,000		500,000						52,144	1,152,144		1,152,144
印刷製本費			925	925		117,000			294,225	413,075	28,810	441,885
会議費										0	1,200	1,200
旅費交通費									498,680	498,680		498,680
通信費						35,079				35,079	81,277	116,356
荷造運搬費						110,760			1,100	111,860		111,860
消耗品費									522	522	95,177	95,699
地代家賃										0	396,000	396,000
水道光熱費										0	47,124	47,124
貸借料							15,300			15,300		15,300
仕入									97,660	97,660		97,660
保険料										0	7,730	7,730
租税公課										0	600	600
諸会費									10,000	10,000		10,000
支払手数料	5,862	683	7,676				110		6,332	20,663	44,199	64,862
その他経費計	605,862	683	508,601	925	180,000	262,839	15,410	0	960,663	2,534,983	702,117	3,237,100
経常費用計	605,862	683	508,601	925	180,000	262,839	15,410	0	960,663	2,534,983	1,590,551	4,125,534
当期経常収支差額	△ 434,235	170,944	△ 404,101	23,040	△ 64,967	△ 133,427	95,997	115,033	95,999	△ 535,717	△ 401,290	△ 937,007

2021年度上半期（2021年 4月 1日～2021年 9月30日）の会計報告を監査した結果、異常なく正當に処理されていることを証明します。

2021年 11月 8日 監査人 大谷 早苗 (印)

事務局便り

唐突で恐縮ながら・・・物事を進捗していけば必ずそのプロセスで問題が発生する。ことを運ぶとは、そういうプロセスと向き合い、乗り越えていけるかどうかということかと思う。そのプロセスで大事なことは、まじめに議論を重ねることだ。それを行う場は会議だ。俎上に載せ、丁寧に議論を重ねるといふ、当たり前だがある意味「面倒で時間のかかる」プロセスが要求される。会議なくして、活動の検証・反省・進捗はない。活動の根幹を支え、合意形成に必須のシステムだ。それをおろそかにしてはいけない。会議というリング上では、討議＝闘議は保障されなければならない。しかし、場外乱闘はいただけない。エンタメなら座興かも・・・だが。リングで議論を尽くし、「たたかい」が終わったら、ノーサイド。当たり前のことが難しい…。 (山盛)

【2021 年度上半期の会計報告 と 年末年始のカンパのお願い】

上半期の会計状況は、おおむね予算通りに進んでいますが、個別にみると、寄付金は645万円という予算目標に対し278万円となり、下半期で360万円以上集まらないと予算達成はできません。これはかなり厳しい数字です。年々会員数も減っていますし、コロナによる影響や、食料品・ガソリン・灯油の値上げなど、家計の負担感が増しているなか、さらなるご寄付をお願いするのは、たいへん心苦しいのですが、どうか、この年末年始のカンパにご協力をよろしくお願い申し上げます。また、新しく会員になってくださる方も募集しています。関心のある方にぜひお声がけください。

団体のリーフレットなど、ご希望の方は事務局までお知らせください。郵送いたします。(兼松)

コロナ禍で活動もままならぬ中、今年も多くの方々のご支援をいただき、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。寒さも厳しくなっています。皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。(事務局一同)

編集後記

- ☆ 食品宅配の「名古屋生活クラブ」が、「油菜ちゃん」の量り売りを始めました。名古屋生活クラブは「油菜ちゃん誕生」からずっと支え続けてくれています。340g入り726円は安い!! (佳)
- ☆ 急に冷え込んで「もう外には出ない!」と固い決心をしたはずなのに、気になるイベントを見つけて街を歩く。関心が無いと動かないってこと、社会に参加しないと閉じ籠りだよ。(美)
- ☆ 2週間にわたる議論の末、11月13日に「COP26」が閉幕した。しかし、豪・印・中・米など世界最大の石炭依存国が「脱炭素化」に関する文書に署名せず、具体策は大幅に先送りされた。これを機に、「人工のCO₂」と「地球温暖化」の因果関係について、今一度じっくりと考えてみた。★そもそも、地球は本当に温暖化しているのか? (→ 直近10年間の気温上昇は、わずか「+0.1℃」?) ★温暖化の主役は「人工のCO₂」か? (→ 「CO₂」は自然界にわずか0.05%しか存在せず、「人工のCO₂」はそのうちの更に10%以下。「温室効果ガス」の主役は、約95%を占めている「水蒸気」?) ★温暖化は「地球の危機」? (→ 農作物の収穫に適した地域は拡大し、むしろ「地球に優しい」?) ...などなど、秋の夜長は好奇心を掻き立ててくれる。(J)

〒456-0022 名古屋市熱田区波寄町 20-14
E印刷「**エーブリント**」
TEL・FAX (052) 871-9473